

令和7年度

農道維持修繕事業

造賀26号農道維持修繕工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市高屋町造賀

位置図



特 記 仕 様 書

(令和7年度 農道維持修繕事業 造賀26号農道維持修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 熔融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）
 - (2) コンクリート殻(有筋)(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の

40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushishutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協

同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

3. 熔融スラグを利用した資材の使用

1. 熔融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する熔融スラグ（以下「熔融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。熔融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「熔融スラグの有効利用促進等に関する方針」「熔融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、熔融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和6年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

熔融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

熔融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を熔融固化したコンクリート用熔融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 86m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

砂質土

(名称)	有限会社広剛産業福富残土処分場1
(所在地)	東広島市福富町上戸野大井出1460-1
(運搬距離)	5.3 km

(2) コンクリート殻(有筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(有筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見

込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 13.7 k m を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 9.5 k m を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

工事数量総括表

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位		数量（今回）	備 考
本工事費						
道路改良工事			式		1	レベル1
土工			式		1	レベル2
掘削工			式		1	レベル3
掘削		土砂 上記以外(小規模)	m3		110	レベル4
路床盛土工			式		1	レベル3
流用土路床		土砂	m3		30	レベル4
流用土路肩盛土		土砂	m3		4	レベル4
法面整形工			式		1	レベル3
法面整形		盛土部 法面締固め有り 現場制約無し	m3		76	レベル4
作業残土処理工			式		1	レベル3
作業残土処理		土砂	式		1	レベル4
処分費			式		1	レベル4
法面工			式		1	レベル2
植生工			式		1	レベル3
張芝		全面張 人工芝（幅 100cm程度）	m2		76	レベル4
擁壁工			式		1	レベル2
作業土工			式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位		数量（今回）	備 考
床堀		土砂	式		1	レベル4
埋戻		土砂	式		1	レベル4
埋戻		砕石	式		1	レベル4
かご工			式		1	レベル3
かご工		多段積型	m		143	レベル4
排水構造物工			式		1	レベル2
作業土工			式		1	レベル3
床堀		土砂	式		1	レベル4
埋戻		土砂	式		1	レベル4
側溝工			式		1	レベル3
角フリューム		KF-300 L=2.0m	m		16.2	レベル4
排水工			式		1	レベル3
1号縦排水（再利用）		KF-200 L=2.0m	m		3.7	レベル4
2号縦排水（再利用）		BF-200 L=2.0m	m		4.5	レベル4
構造物撤去工			式		1	レベル2
構造物取壊し工			式		1	レベル3
舗装版取壊し		アスファルト、t=15cm以下	m2		60	レベル4
取壊工		鉄筋 KF300	m3		0.5	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位		数量（今回）	備 考
殻運搬・処理	Co殻 鉄筋	m3		0.5	レベル4
殻運搬・処理	As殻	m3		3.0	レベル4
受入費	Co殻 鉄筋	m3		1.3	レベル4
受入費	As殻	m3		7.1	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
表層	平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	m2		59	レベル4
上層路盤	RM-30 全仕上り厚100mm	m2		63	レベル4
下層路盤	RC-40 全仕上り厚150mm	m2		66	レベル4
付帯施設工		式		1	レベル2
縁石工		式		1	レベル3
アスカープ	断面積125cm2以上140cm2未満 細粒度アスコン(13)	m		25	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					

工事数量総括表

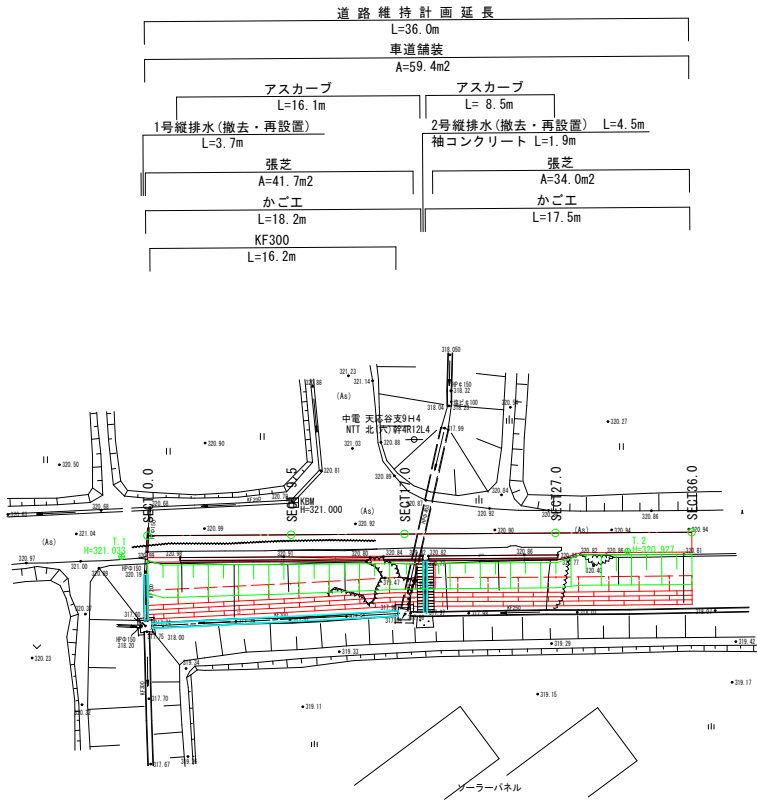
頁 0 - 0004

[illegible]

計画平面図



S=1:250

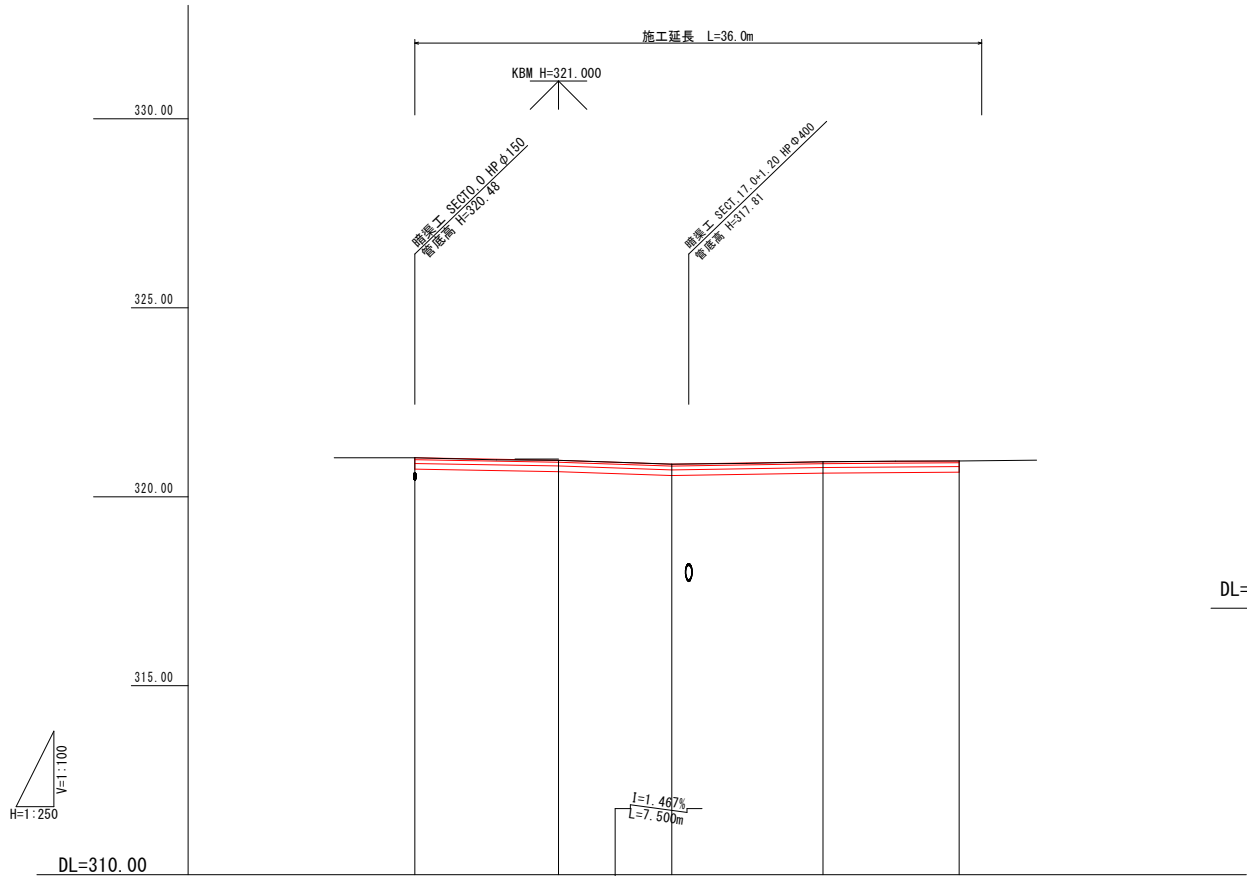


・現地調査により、湧水が確認されているため、かご工と角フリームの間は埋戻しに砕石を採用している。
湧水は下流側の集水溝もしくは側溝へ排水するよう工夫すること。

工事名	令和7年度 農道維持修繕事業 造賀26号農道維持修繕工事		
図面名	平 面 図		
縮尺	1:250	図面番号	1 / 5
路 線 名	造賀26号線		
工事箇所	東広島市高屋町造賀		

縦断図

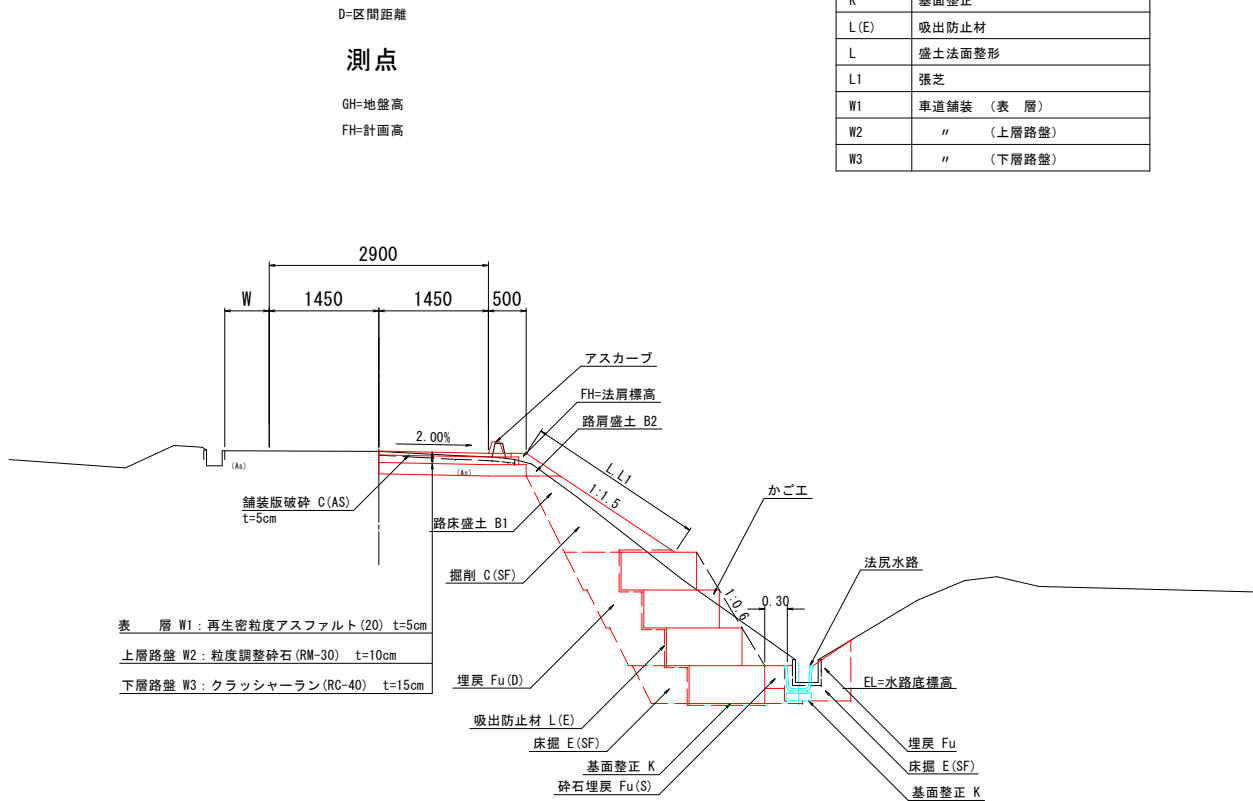
H=1:250
V=1:100



勾配	321.030	320.970	320.860	320.930	320.950
盛土					
切土	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
計画高	321.030	320.970	320.860	320.930	320.950
地盤高	321.03	320.97	320.86	320.93	320.95
追加距離	0.000	9.500	17.000	27.000	36.000
単距離	0.000	9.500	7.500	10.000	9.000
測点	SEC1.0.0	SEC1.9.5	SEC1.17.0	SEC1.27.0	SEC1.36.0
曲線					

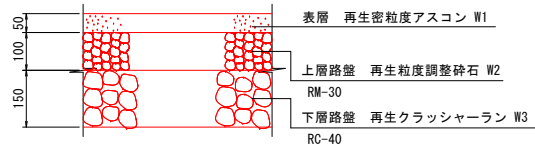
標準横断図

S=1:50



車道舗装

S = 1:10



上層路盤上にはプライムコート (PK-3) を散布

凡例

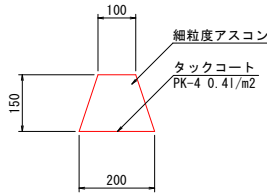
記号	名称
C(AS)	舗装版破砕 (アスファルト t=5cm)
C(SF)	掘削 (片切 土砂)
B1	路床盛土 (施工幅員2.5m未満)
B2	路肩盛土
E(SF)	床掘 (土砂・小規模)
Fu	埋戻し (小規模)
Fu(S)	砕石埋戻
K	基面整正
L(E)	吸出防止材
L	盛土法面整形
L1	張芝
W1	車道舗装 (表層)
W2	" (上層路盤)
W3	" (下層路盤)

・現地調査により、湧水が確認されているため、かごエと角フリームの間は埋戻しに砕石を採用している。
湧水は下流側の集水堀もしくは側溝へ排水するよう工夫すること。

工事名	令和7年度 農道維持修繕事業 造賀26号農道維持修繕工事		
図面名	縦断図・標準横断図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
路線名	造賀26号線		
工事箇所	東広島市高屋町造賀		

アスカーブ

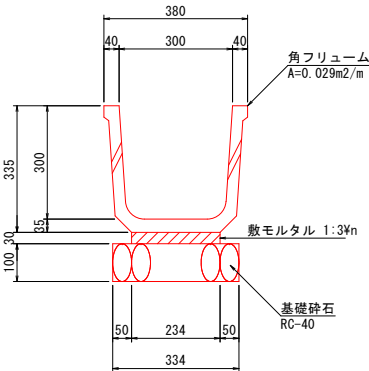
S = 1:10



材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
細粒度アスコン	13mm	m3	0.225	
タックコート	PK-4 0.4l/m2	m2	2.00	

KF300

S = 1:10

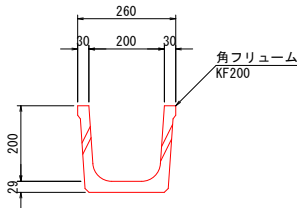


(撤去工) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
側 溝	角フリューム300	m	10.000	
		m3	0.290	

(新設) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
側 溝	角フリューム300	本	5.0	
バット	角フリューム300	枚	5.0	
敷モルタル	1:3	m3	0.070	
基 礎 砕 石	RC-40 t=100mm	m2	3.34	

1号縦排水

S = 1:10

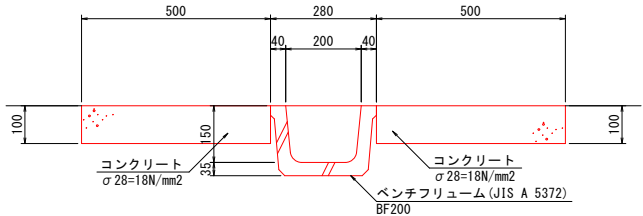


(撤去工) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
側 溝	角フリューム200	m	10.000	

(再設置) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
側 溝	角フリューム200	m	10.000	

2号縦排水

S = 1:10



(撤去工) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
側 溝	ベンチフリューム200	m	10.000	

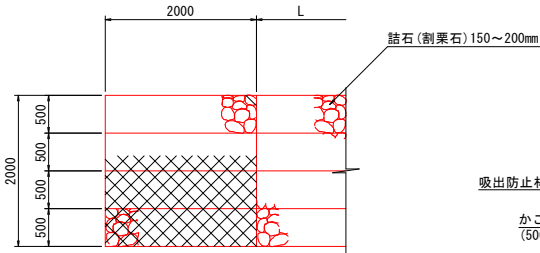
(再設置) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
側 溝	ベンチフリューム200	m	10.000	

(袖コンクリート) 材料表				10m当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σ28=18N/mm2	m3	1.000	
型 枠	小型	m2	2.00	

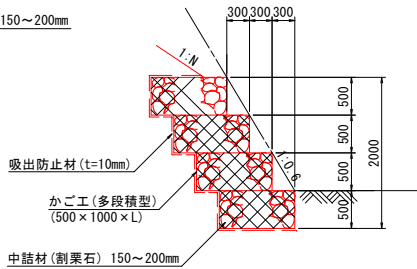
かご工

S = 1:50

正面図



側面図



(注)かご工は、擁壁として適用可能な製品(共和ハーマテック株式会社 ハイバーマット多段積型と同等品以上)を使用すること

工事名	令和7年度 農道維持修繕事業 造賀26号農道維持修繕工事		
図面名	構 造 図		
縮尺	図 示	図面番号	4 / 5
路 線 河 川 名	造賀26号線		
工事箇所	東広島市高屋町造賀		

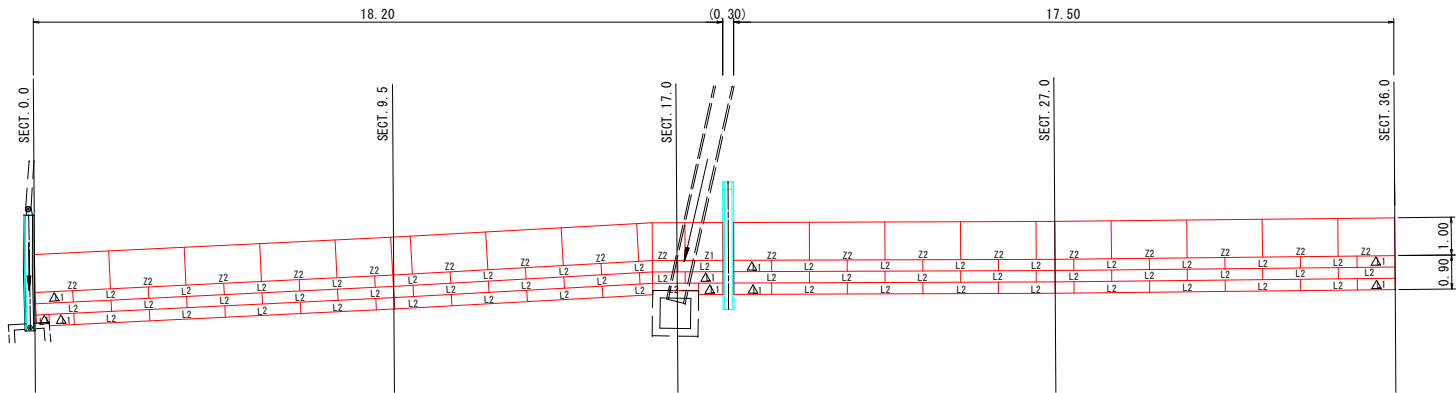
かごエ (多段積型) 割付参考図

擁壁工として適用可能なかごエ (共和ハーモテックス株式会社「ハイパーマット多段積型」と同等品以上)を使用すること

平面図

S = 1:100

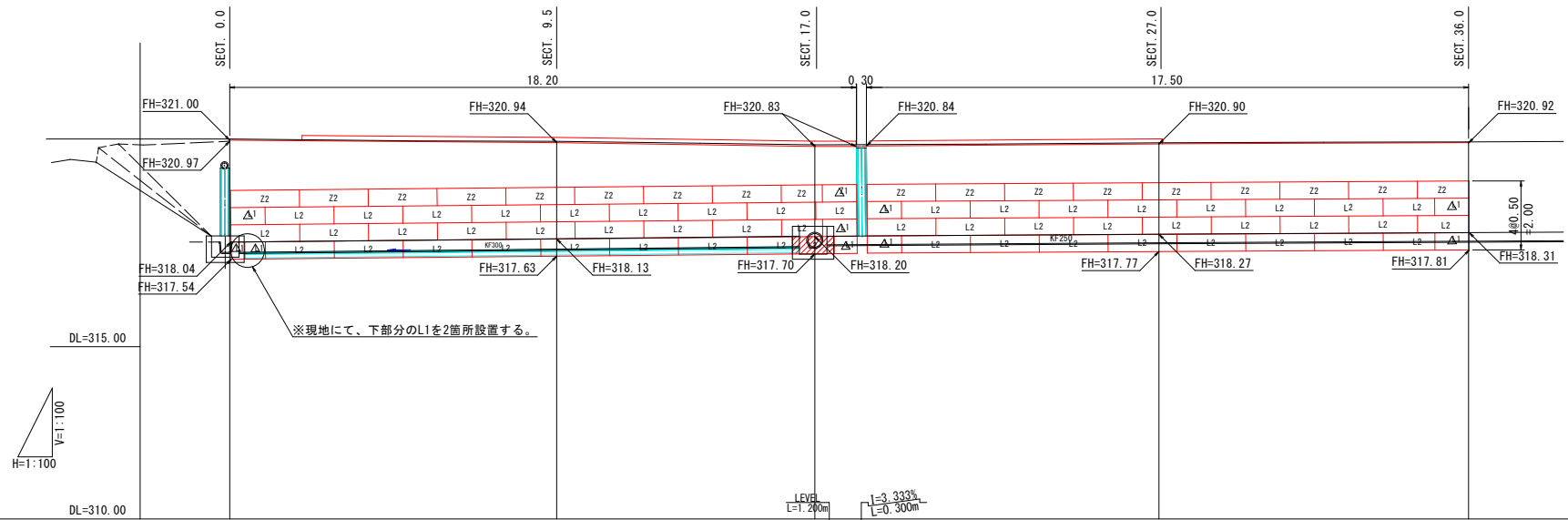
△はL=1.0m部材を使用。



正面図

S = 1:100

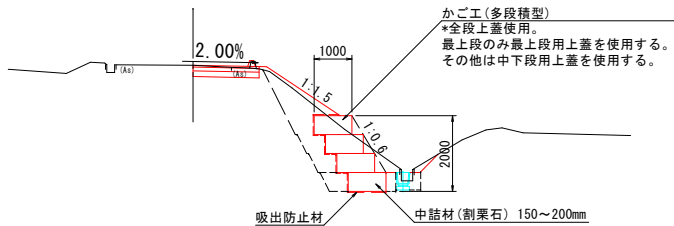
△はL=1.0m部材を使用。



法 肩 勾 配						
法肩計画高	321.000	320.940	320.830	320.840	320.900	320.920
水路天端勾配						
法尻計画高	318.040	318.200	318.500	318.210	318.270	318.310
法尻地盤高	318.22	318.21	318.50	318.21	318.27	318.31
追 加 距 離	0.000	9.500	17.000		27.000	36.000
単 距 離	0.000	9.500	7.500		10.000	9.000
測 点	SECT. 0.0	SECT. 9.5	SECT. 17.0		SECT. 27.0	SECT. 36.0

標準断面図

S=1:100



かごエ 特記仕様表 (ハイパーマット多段積型を参照)

記号	名 称	線 径 (mm)	材 質・表面処理
a	本体	φ6・φ5	亜鉛アルミ合金先めっき溶接金網 めっき付着量300g/m2以上、アルミ含有量10%以上 線材引張強さ540N/mm2以上
b	側面網	φ6・φ5	
c	上蓋	φ5	
d, e	ステー	φ6	亜鉛アルミ合金めっき鉄線 めっき付着量300g/m2以上、アルミ含有量10%以上
f, g	コイル	φ5	

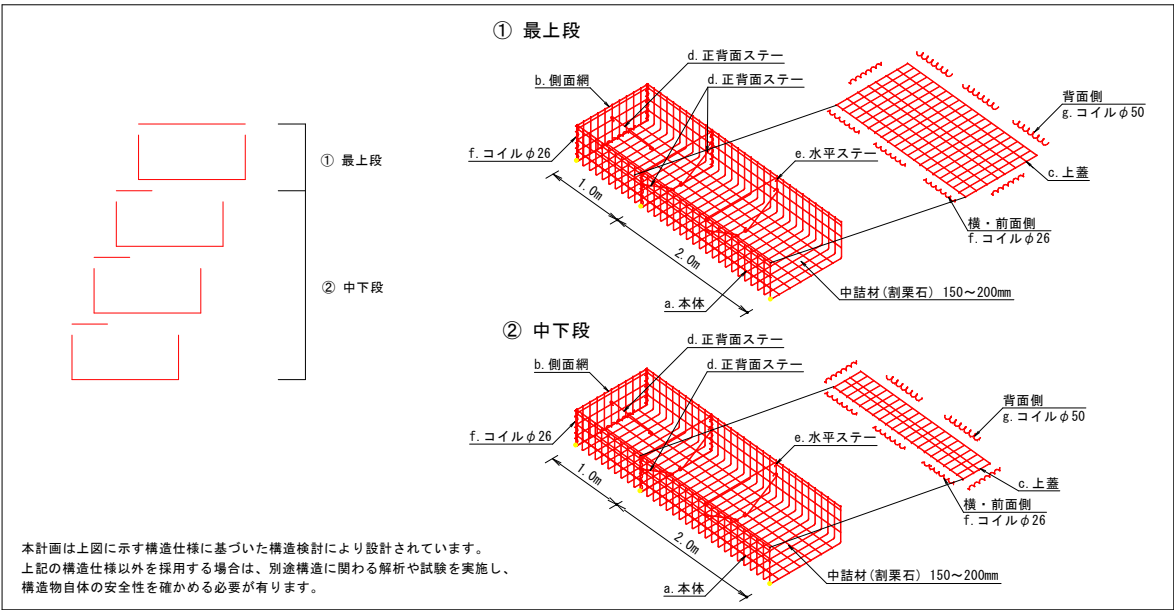
かごエ数量表

部 材 名 称		数 量	延 長	
100型	本体 2m	0.50 × 1.00 × 2.00	70	
	本体 1m	0.50 × 1.00 × 1.00	10	
	側面網	0.50 × 1.00	22	
	上 蓋	1.00 × 2.00 (Z2)	18	最上段用 37.00m
		1.00 × 1.00 (Z1)	1	
		0.63 × 2.00 (L2)	52	中下段用 113.00m
		0.63 × 1.00 (L1)	9	

(注1)短尺製品は、従来品 (2mおよび1m製品)を加工 (カット)して製作する。

(注2)上蓋延長は製品加工前の延長で計上している。

かごエ 姿図 (ハイパーマット多段積型を参照)



工事名	令和7年度 農道維持修繕事業 造賀26号農道維持修繕工事		
図面名	かごエ (多段積型) 割付参考図		
縮 尺	1:100	図面番号	5 / 5
路 線 河 川 名	造賀26号線		
工事箇所	東広島市高屋町造賀		

参 考 図 書

工事名称：令和 7 年度 農道維持修繕事業 造賀 26 号農道維持修繕工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂質土	(有)広剛産業福富残土処分場 1	東広島市福富町上戸野大井出 1460-1	5.3

・当該工事により発生する Co 殻、As 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	光陽産業(株) 豊栄工場	東広島市豊栄町乃美 1882-1	9.5
Co 殻 (鉄筋)	(有)ドイ産業リサイクル施設	東広島市豊栄町安宿 273-3	13.7

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-07.06.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015 ~)		
	当世代		前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T 補正区分	04 道路改良工事 01 千円未満切捨 07 4 週 8 休以上(現場閉所) 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
道路改良工事										レベル 1	
		1			式						
土工										レベル 2	
		1			式						
掘削工										レベル 3	
		1			式						
掘削 土砂 上記以外(小規模)										レベル 4	
		110			m3						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準										00	
		110			m3					単第 0 -0001号表	
路床盛土工										レベル 3	
		1			式						
流用土路床 土砂										レベル 4	
		30			m3						
機械併用埋戻(小規模土工)										00	
		30			m3					単第 0 -0002号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
流用土路肩盛土 土砂	4	m3				レベル 4
機械併用埋戻(小規模土工)	4	m3				00
法面整形工	1	式				単第 0 -0002号表 レベル 3
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約無し	76	m2				レベル 4
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	76	m2				00 単第 0 -0005号表
作業残土処理工	1	式				レベル 3
作業残土処理 土砂	60	m3				レベル 4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)	60	m3				00 単第 0 -0006号表
処分費	60	m3				レベル 4

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる											
処分費 建設発生土 有限会社広剛産業福富残土処分場1		60		m3						00	
法面工										レベル 2	
		1		式							
植生工										レベル 3	
		1		式							
張芝	全面張 人工芝（幅 100cm程度）	76		m2						レベル 4	
芝付工	全面張 人工芝（幅 100cm程度）	76		m2						00	
擁壁工										単第 0 -0007号表 レベル 2	
		1		式							
作業土工										レベル 3	
		1		式							
床堀	土砂	36		m3						レベル 4	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)										00	
		36		m3						単第 0 -0008号表	
埋戻 土砂										レベル 4	
		48		m3							
機械併用埋戻(小規模土工)										00	
		48		m3						単第 0 -0002号表	
埋戻 砕石										レベル 4	
		3		m3							
敷砂利 再生クラッシャーラン (RC-40)										00	
		3		m3						単第 0 -0009号表	
かご工										レベル 3	
		1		式							
かご工 多段積型										レベル 4	
		143		m							
かごマット設置 多段積型										00	
		75		m2						単第 0 -0011号表	
ハイパーマット多段積100型 最上段部 0.5×1.0×2.0										00	
		36		m							

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ハイパーマット多段積100型 最上段部 0.5×1.0×1.0	1	m							00	
ハイパーマット多段積100型 中下段部 0.5×1.0×2.0	104	m							00	
ハイパーマット多段積100型 中下段部 0.5×1.0×1.0	9	m							00	
ハイパーマット多段積100型 端部用側面網 0.5×1.0	22	枚							00	
割ぐり石 200～150mm	69	m3							00	
吸出防止剤 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	188	m2							00	
排水構造物工	1	式							レベル 2	
作業土工	1	式							レベル 3	
床堀 土砂	6	m3							レベル 4	

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	6	m3				00 単第 0 -0008号表 レベル 4
埋戻 土砂	5	m3				00 単第 0 -0002号表 レベル 3
機械併用埋戻(小規模土工)	5	m3				00 単第 0 -0002号表 レベル 3
側溝工	1	式				レベル 4
角フリューム KF-300 L=2.0m	16.2	m				00 単第 0 -0012号表
角フリューム布設 KF - 3 0 0 パット接合	16.2	m				00 単第 0 -0013号表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	5.4	m2				00 単第 0 -0013号表 レベル 3
排水工	1	式				レベル 4
1号縦排水(再利用) KF-200 L=2.0m	3.7	m				

本工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
角フリューム撤去 KF - 200 パット接合	3.7	m							00	単第 0 -0014号表
角フリューム布設 KF - 200 パット接合	3.7	m							00	単第 0 -0015号表
2号縦排水（再利用） BF-200 L=2.0m	4.5	m								レベル 4
再利用撤去 U型側溝 L=2000_1000kg/個以下	4.5	m							00	単第 0 -0016号表
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	4.5	m							00	単第 0 -0017号表
袖コンクリート	2	m							00	単第 0 -0018号表
構造物撤去工	1	式								レベル 2
構造物取壊し工	1	式								レベル 3
舗装版取壊し アスファルト、t=15cm以下	60	m2								レベル 4

本工事費

内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	39	m				00 単第 0 -0021号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	60	m2				00 単第 0 -0022号表
取壊工 鉄筋 KF300	0.5	m3				レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	0.5	m3				00 単第 0 -0023号表
殻運搬・処理 Co殻 鉄筋	0.5	m3				レベル4
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.5	m3				00 単第 0 -0024号表
殻運搬・処理 As殻	3.0	m3				レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離11.5km以下(6.5km超)	3.0	m3				00 単第 0 -0025号表
受入費 Co殻 鉄筋	1.3	t				レベル4

本工事費

内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						
処分費 Co殻（鉄筋構造物） （有）土井産業 リサイクル施設	1.3	t				00
受入費 As殻	7.1	t				レベル 4
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						
処分費 As殻 光陽産業(株) 豊栄工場	7.1	t				00
舗装工	1	式				レベル 2
アスファルト舗装工	1	式				レベル 3
表層 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	59	m2				レベル 4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	59	m2				00

単第 0 -0026号表

本工事費

内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤 RM-30 全仕上り厚100mm	63	m2				レベル 4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	63	m2				00 単第 0 -0027号表
下層路盤 RC-40 全仕上り厚150mm	66	m2				レベル 4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	66	m2				00 単第 0 -0028号表
付帯施設工	1	式				レベル 2
縁石工	1	式				レベル 3
アスカーブ 断面積125cm2以上140cm2未満 細粒度アスコン(13)	25	m				レベル 4
アスカーブ 断面積125cm2以上140cm2未満 細粒度アスコン(13)	25	m				00 単第 0 -0029号表
直接工事費						

本工事費

内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率分						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
* * 工事価格計 * *						

本工事費

内訳表

頁0 -0013

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.26%

SPK24040001
標準
61.70%

労務構成比:
材料構成比: 11.04%

単第 0 -0001号表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 1,212.3000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

单第 0 -0002号表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)

SPK24040007

単第 0 -0003号表

土砂

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 27.26% 労務構成比: 61.70% 材料構成比: 11.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,068.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

单第 0 -0004号表

頁0 -0017

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

法面整形

盛土部 法面締固め有り 現場制約無し

機械構成比: 12.19%

SPK24040025

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

労務構成比: 75.67%

材料構成比: 12.14%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0005号表

1

m2

当り

標準単価: 697.0200

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	12.19%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	30.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.21%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	16.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=1 法面締固め有り D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0019

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 24.45% 労務構成比: 63.42% 材料構成比: 12.13% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040002
DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

単第 0 -0006号表
1
標準単価: 1,943.1000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=28 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0020

芝付工

全面張 人工芝 (幅 100cm程度)

单第 0 -0007号表

10

m2

当り

[illegible]

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0008号表

1
標準単価: m3 当り
2,170.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

敷砂利
再生クラッシャーラン (RC-40)

頁0 -0022

10 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

機-1 バックホウ運転

クローラ[標準]山積0.8m³ (平積0.6m³)

排出ガス対策型3次基準

单第 0 -0010号表

時間 当り

[illegible]

かごマット設置 多段積型

頁0 -0024

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

角フリューム布設

KF - 300

パット接合

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

基礎碎石

SPK24040034

単第 0 -0013号表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.58% 労務構成比:

77.45%

材料構成比: 16.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,206.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0027

基礎碎石

SPK24040034

单第 0 -0013号表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.58% 労務構成比: 77.45%

材料構成比: 16.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：
1

m2 当り
1,206.1000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

角フリューム撤去

K F - 2 0 0

パット接合

单第 0 -0014号表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

角フリューム布設

K F - 2 0 0

パット接合

1

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

再利_レ用撤去

U型側溝 L=2000 1000kg/個以下

单第 0 -0016号表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

U型側溝
材料別途 L=2000mm/本

单第 0 -0017号表

1 m 当り

[illegible]

袖コンクリート

施工単価表

单第 0 -0018号表

頁0 -0032

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

コンクリート

SPK24040153

単第 0 -0019号表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.69%

労務構成比:

37.88%

材料構成比:

58.43%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,650.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.49%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	56.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0034

コンクリート

SPK24040153

单第 0 -0019号表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.69%

勞務構成比：

37.88%

材料構成比: 58.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

34,650.0000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0020号表

1
標準単価:

m2 当り
8,483.4000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		43.77%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		31.27%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		11.92%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=2	小型構造物		

施工単価表

頁0 -0036

舗装版切断

SPK24040306

単第 0 -0021号表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.2600

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0037

鋪裝版切断

SPK24040306

单第 0 -0021号表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.2600

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

舗装版破碎

SPK24040305

単第 0 -0022号表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 13.49%

労務構成比:

80.49%

材料構成比: 6.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

207.0600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0039

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

機械施工

单第 0 -0023号表

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

単第 0 -0024号表
1
標準単価: 2,501.8000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

頁0 -0041

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離11.5km以下(6.5km超)
労務構成比: 38.97%

単第 0 -0025号表
材料構成比: 16.08%

標準単価: 1
m3 当り
3,512.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=46 運搬距離11.5km以下(6.5km超)		

施工単価表

頁0 -0042

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK24040241

単第 0 -0026号表

1層当り平均仕上厚50mm

1 m2 当り
標準単価： 1,934.6000

機械構成比： 1.61% 労務構成比： 13.99% 材料構成比： 84.40% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.03%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0043

表層(車道・路肩部) SPK24040241 単第 0 -0026号表
平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm 1 m2 当り
機械構成比: 1.61% 労務構成比: 13.99% 材料構成比: 84.40% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,934.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	77.40%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0044

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第 0 -0027号表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2

当り

機械構成比: 9.88%

労務構成比: 33.13%

材料構成比: 56.99%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

569.6700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0045

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第 0 -0027号表

RM-30

機械構成比: 9.88%

労務構成比: 33.13%

材料構成比: 56.99%

市場単価構成比: 0.00%

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2

当り

標準単価: 569.6700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0046

下層路盤(車道・路肩部)

SPK24040232

単第 0 -0028号表

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.67%

労務構成比:

15.69%

材料構成比:

79.64%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,202.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.48%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0047

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚150mm 1層施工

機械構成比: 4.67%

労務構成比: 15.69%

材料構成比: 79.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,202.1000

RC-40

SPK24040232

単第 0 -0028号表

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40～0mm	78.02%		クラッシャー 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0048

アスカープ

SPK24040245

単第 0 -0029号表

断面積125cm2以上140cm2未満

細粒度アスコン(13)

1 m 当り

機械構成比: 4.42% 労務構成比:

62.80%

材料構成比: 32.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

972.8100

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	2.50%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
アスファルトカーバ ガソリンエンジン駆動式 能力4.0～4.5m3/h	1.67%		アスファルトカーバ ガソリンエンジン駆動式 能力4.0～4.5m3/h		MTPC00055 MTPT00055
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	10.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(一般)	8.86%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 細粒度(13)	31.17%		再生細粒度アスコン 13		TTPC00019 TTPT00025

施工単価表

頁0 -0049

アスカーブ

SPK24040245

単第 0 -0029号表

断面積125cm2以上140cm2未満

細粒度アスコン(13)

1 m 当り

機械構成比: 4.42%

労務構成比: 62.80%

材料構成比: 32.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 972.8100

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.41%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 断面積125cm2以上140cm2未満 C=2 小型車割増有 E=1 -(全ての費用)			B=1 細粒度アスコン(13) D=1 -		

(甲)

工 事 数 量 総 括 表 (造賀26号線)									
工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)		単位	計算数量	設計数量	摘 要
道路維持	道路土工								
		掘削工	掘削(土砂)	砂質土	片切	m3	113.5	110	C(SF)
		路床盛土工	路床盛土	砂質土	2.5m未満	m3	29.5	30	B1
			路肩盛土	砂質土		m3	3.7	4	B2
		法面整形工	法面整形	盛土部		m2	75.7	76	L
		残土処理工	土砂等運搬	砂質土		m3	60.2	60	
			残土処分	土砂		m3	60.2	60	
	法面工								
		植生工	張芝	植生シート		m2	75.7	76	L1
	擁壁工								
		作業土工	床掘	土砂	小規模	m3	36.0	36	E(SF)
			埋戻	土砂	小規模	m3	48.1	48	Fu
				碎石	RC-40	m3	2.9	3	Fu(S)
			基面整正	土砂		m2	36.0	36	K
		かご工	かご	多段積型	幅1m	m	142.8	143	
			かご(100型)	0.50×1.00 ×2.00		枚	70.0	70	(設置) 0.5×2×70+0.5×1× 10=75m2
				0.50×1.00 ×1.00		枚	10.0	10	
				0.50×1.00 ×2.00	最上段部	m	36.0	36	18m×2m=36m
				0.50×1.00 ×1.00	最上段部	m	1.0	1	1m×1m=1m
				0.50×1.00 ×2.00	中下段部	m	104.0	104	54m×2m=104m
				0.50×1.00 ×1.00	中下段部	m	9.0	9	9m×1m=9m
			側面網	0.50×1.00		枚	22.0	22	

(乙)

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)		単位	計算数量	設計数量	摘 要
			中詰石	割栗石	150～200mm	m3	67.8	68	67.8+(1+0.1)= 68.9m3(ロス率)
			吸出防止材	不織布	t=10mm	m2	161.8	162	161.8×(1+0.16)= 187.7m2(ロス率)
	排水 構造物工								
		作業土工	床掘	土砂	小規模	m3	6.3	6	E(SF)
			埋戻	土砂	小規模	m3	4.7	5	Fu
			基面整正	土砂		m3	1.6	2	K
		側溝工	プレキャスト U型側溝	KF300		m	16.2	16.2	
		排水工	1号縦排水	KF200		m	3.7	3.7	
			2号縦排水	BF200		m	4.5	4.5	
			袖コンクリート	σ 28=18N/mm2	小型	m	1.9	2	
	構造物 撤去工								
		構造物 取壊し工	舗装版切断	アスファルト 舗装	t=15cm以下	m	38.9	39	
			舗装版破碎	アスファルト 舗装	t=5cm	m2	60.2	60	
		排水構造物 撤去工	U型側溝撤去	KF300		m	16.2	16.2	処分
				1号縦排水	KF300	m	3.7	3.7	再設置
				2号縦排水	BF200	m	4.5	4.5	再設置
		運搬処理工	殻運搬	コンクリート	鉄筋	m3	0.5	0.5	KF300
				アスファルト		m3	3.0	3	
			殻処分	コンクリート	鉄筋	m3	0.5	0.5	KF300
						t	1.3	1	
				アスファルト		m3	3.0	3	
						t	7.1	7	
	舗装工								
		アスファルト 舗装工	表層	再生密粒度 アスコン	t=50mm	m2	59.4	59	W1
			上層路盤	RM-30	t=100mm	m2	62.8	63	W2
			下層路盤	RC-40	t=150mm	m2	66.3	66	W3
	縁石工								
		縁石工	アスカープ	細粒度 アスコン	13mm	m	24.6	25	

土 量 配 分 表

発生土(流用可能土)

掘削	C(SF)	113.5m3
合 計		113.5m3

(流用土)

$36.9 \times 0.9 = 33.2\text{m}^3$ (B1,B2)

盛土

路床盛土	B1	29.5m3
路肩盛土	B2	3.7m3
合 計		33.2m3

構造物土工

擁壁工	E(SF)	36.0m3
排水構造物工	E(SF)	6.3m3
合 計		42.3m3

(流用土)

$58.7 \times 0.9 = 52.8\text{m}^3$

構造物土工

擁壁工	Fu(D)	48.1m3
排水構造物工	Fu(D)	4.7m3
合 計		52.8m3

残土処理

土砂	砂質土	60.2m3

道路土工
掘削工

測 点	距 離	掘削(土砂) C(SF)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.8									
SECT,9.5	9.5	3.7	3.25	30.9							
SECT,17.0	7.5	3.1	3.40	25.5							
SECT,27.0	10.0	3.0	3.05	30.5							
SECT,36.0	9.0	2.9	2.95	26.6							
合計	36.0			113.5							

道路土工
路床盛土工

測 点	距 離	路床盛土(2.5m以下) B1			路肩盛土 B2						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		0.5			0.1						
SECT,9.5	9.5	1.0	0.75	7.1	0.1	0.10	1.0				
SECT,17.0	7.5	0.9	0.95	7.1	0.1	0.10	0.8				
SECT,27.0	10.0	0.9	0.90	9.0	0.1	0.10	1.0				
SECT,36.0	9.0	0.5	0.70	6.3	0.1	0.10	0.9				
合計	36.0			29.5			3.7				

道路土工 法面整形工

測 点	距 離	盛土法面整形 L									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.6									
SECT,9.5	9.5	2.4	2.50	23.8							
SECT,17.0	7.5	2.0	2.20	16.5							
	0.7	2.0	2.00	1.4							
小計	17.7			41.7							
		2.0									
SECT,27.0	8.0	2.0	2.00	16.0							
SECT,36.0	9.0	2.0	2.00	18.0							
小計	17.0			34.0							
合計	34.7			75.7							

法 面 工 数 量 集 計 表									
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

法面工
植生工

測 点	距 離	植生シート L1									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.6									
SECT,9.5	9.5	2.4	2.50	23.8							
SECT,17.0	7.5	2.0	2.20	16.5							
	0.7	2.0	2.00	1.4							
小計	17.7			41.7							
		2.0									
SECT,27.0	8.0	2.0	2.00	16.0							
SECT,36.0	9.0	2.0	2.00	18.0							
小計	17.0			34.0							
合計	34.7			75.7							

擁壁工数量集計表

[illegible]

擁壁工
作業土工

測 点	距 離	床掘 E(SF)			埋戻 Fu			碎石埋戻 Fu(S)			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.0			1.4			0.08			
SECT,9.5	9.5	1.0	1.00	9.5	1.3	1.35	12.8	0.08	0.08	0.8	
SECT,17.0	7.5	1.1	1.05	7.9	1.4	1.35	10.1	0.09	0.09	0.7	
SECT,27.0	10.0	0.9	1.00	10.0	1.3	1.35	13.5	0.07	0.08	0.8	
SECT,36.0	9.0	1.0	0.95	8.6	1.3	1.30	11.7	0.07	0.07	0.6	
合計	36.0			36.0			48.1			2.9	

擁壁工
作業土工

測 点	距 離	基面整正 K									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.0									
SECT,9.5	9.5	1.0	1.00	9.5							
SECT,17.0	7.5	1.0	1.00	7.5							
SECT,27.0	10.0	1.0	1.00	10.0							
SECT,36.0	9.0	1.0	1.00	9.0							

[illegible][illegible]

擁壁工
かご工

測 点	距 離	中詰材									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.0			4段当たり1mの断面積 0.50(高さ)×1.00(幅)×4段×1.00(延長)=2.0m ³ /m						
SECT,9.5	9.5	2.0	2.00	19.0							
SECT,17.0	7.5	2.0	2.00	15.0							
	1.2	2.0	2.00	2.4							
小計	18.2			36.4							
		2.0									
SECT,27.0	8.5	2.0	2.00	17.0							
SECT,36.0	9.0	2.0	2.00	18.0							
小計	17.5			35.0							
合計	35.7			71.4							
	中詰数量は容量の95% 71.4×0.95 =			67.8	(注)中詰の95%はハイパーマット多段積型を使用した場合の減少率						

擁壁工
かご工

各 種 数 量 計 算 書

測 点	距 離	吸出防止材L(E)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		4.0									
	0.4	4.0	4.00	1.6							
		4.6									
SECT,9.5	9.1	4.6	4.60	41.9							
	6.9	4.6	4.60	31.7							
		4.7									
SECT,17.0	0.6	4.5	4.60	2.8							
	0.6	4.5	4.50	2.7							
		4.6									
	0.6	4.6	4.60	2.8							
小計	18.2			83.5							
		4.6									
SECT,27.0	8.5	4.6	4.60	39.1							
SECT,36.0	9.0	4.1	4.35	39.2							
小計	17.5			78.3							
合計	35.7			161.8							

排水構造物工 数 量 集 計 表

[illegible]

排水構造物工 作業土工

測 点	距 離	床掘 E(SF)			埋戻 Fu			基面整正 K			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
		0.4			0.3			0.1			
SECT,9.5	9.1	0.4	0.40	3.6	0.3	0.30	2.7	0.1	0.10	0.9	
	6.8	0.4	0.40	2.7	0.3	0.30	2.0	0.1	0.10	0.7	
合計	15.9			6.3			4.7			1.6	

排水構造物工

構造物撤去工 数量 集計表

[illegible]

[illegible]

構造物取壊し工

測 点

鋪裝版切斷

左側

右側

左側

右側

左側

右側

左側

右側

SECT.0.0

1.6

SECT,9.5

9.5

SECT,17.0

7.5

SECT,27.0

10.0

SECT,36.0

9.0

1.3

小計

0.0

38.9

合計

38.9

構造物撤去工
構造物取壊し工

測 点	距 離	舗装版破碎 C(AS)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.6									
	2.1	1.8	1.70	3.6							
SECT,9.5	7.4	1.8	1.80	13.3							
SECT,17.0	7.5	1.8	1.80	13.5							
SECT,27.0	10.0	1.7	1.75	17.5							
	1.6	1.7	1.70	2.7							
		1.3									
SECT,36.0	7.4	1.3	1.30	9.6							
合計	36.0			60.2							

排水構造物撤去工

測 点	KF300		1号縦排水		2号縦排水			
	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側
SECT,0.0				3.7				
SECT,9.5		9.2						
SECT,17.0		7.0						
SECT,27.0						4.5		
SECT,36.0								
小計	0.0	16.2	0.0	3.7	0.0	4.5		
合計	16.2		3.7		4.5			

舖 装 工 数 量 集 計 表

[illegible]

舗装工
アスファルト舗装工

測 点	距 離	表層 W1			上層路盤 W2			下層路盤 W3			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.64			1.64			1.64			
	2.1	1.75	1.70	3.6	1.85	1.75	3.7	1.95	1.80	3.8	
SECT,9.5	7.4	1.75	1.75	13.0	1.85	1.85	13.7	1.95	1.95	14.4	
SECT,17.0	7.5	1.75	1.75	13.1	1.85	1.85	13.9	1.95	1.95	14.6	
SECT,27.0	10.0	1.75	1.75	17.5	1.85	1.85	18.5	1.95	1.95	19.5	
	0.1	1.75	1.75	0.2	1.85	1.85	0.2	1.95	1.95	0.2	
	1.5	1.31	1.53	2.3	1.41	1.63	2.4	1.51	1.73	2.6	
SECT,36.0	7.4	1.31	1.31	9.7	1.41	1.41	10.4	1.51	1.51	11.2	
合計	36.0			59.4			62.8			66.3	

縁 石 工 数 量 集 計 表

[illegible][illegible]

[illegible]

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

小計	0.0	24.6						
合計	24.6							

合計	24.6			
----	------	--	--	--

